

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 2 月 14 日

所属	商経学部	職名	教授	氏 名	川崎 知己
研究課題	小児期発症流暢性障害の生徒への在籍校における支援の在り方について：中学校，高等学校段階に焦点をあてて				
研究キーワード	小児期発症流暢性障害 特別支援教育 在籍学級	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	10. 人や国の不平等をなくそう	3. すべての人に健康と福祉を	16. 平和と公正をすべての人に	

1. 研究成果の概要

発達障害者支援法第 2 条に定める『政令で定められるもの』の一つに神経発達障害があり，その一つである小児期発生の流暢性障害（以下「吃音」という。）も発達障害者支援法の対象になる（菊池，2015）とされながらも吃音については十分に認知されていないと論じられている（樋口 2018）。森（2020）は，吃音のある児童生徒が，学齢期に約半数がいじめやからかいを経験すること，学齢後期以降には，吃音を隠そうとして多彩な，しばしば不適切な対処行動を発達させ，思春期以降は社交不安障害やうつ等の精神科的問題も併発させやすいことを指摘するとともに，言語訓練は単独では長期的な有効率が低く，心理面・社会面のサポートも必要であることを論じている。この課題を踏まえ，本研究の目的は，吃音のある児童生徒を担当する通常の学級の教員には，どのような教育的な支援や配慮が求められているかについて，吃音があり学童期に通級による指導等を受けていた経験のある成人からの回顧的インタビューによる質的研究を通して探索的に明らかにした。

小児期発症の流暢性障害（吃音）のあった成人 13 名を対象として，高校までの学校生活における困難さやサポートの有無やその実際，吃音の受容までのプロセスをインタビューした。インタビューの内容を逐語に起こし，M-GTA（修正版グランデッドセオリーアプローチ）を用いて分析し，吃音の自覚から受容に至るプロセスモデルを構築し，必要とされる配慮，指導・支援の在り方を明らかにした。

その結果，小学校段階よりも中学校，高校で吃音があることによる同学年生徒からの無理解，偏見からくる嘲笑，侮蔑，揶揄等で，心理的なダメージを受けていることが明らかになった。それを踏まえ，中学校，高校の教員は，①吃音や吃音に伴う困難さについての適切な理解，②吃音や吃音に伴う困難さ，学校生活で何らかの厳しさを感じる場面に遭遇していることを教員として理解していることが当該生徒に伝わる対応，③当該生徒が安心して学校生活を送れる友人関係の把握や，友人関係構築に向けたサポート，④吃音や吃音に伴う困難さ等に対して，当該生徒の可能な方策の提案，または，当該生徒と一緒に方策を見出していく姿勢・態度，⑤当該生徒がサポートを求めやすくする定期的な面談等の機会の設定，⑥ 特別支援教育コーディネーターとともに，学校全体で，当該生徒についての情報共有，配慮事項，方針，サポート体制の構築，⑦ 当該生徒の保護者への精神的なサポートや，精神的なサポートをしてくれるスクールカウンセラーや専門機関等の紹介や情報提供の必要性が明らかになった。

2. 著書・論文・学会発表等

（できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【著書・論文（査読なし）】

- 通常の学級担任教員に求められる小児期発生の流暢性障害の生徒への配慮と支援 - 中学校，高等学校段階に焦点をあてて，川崎 知己，単著、千葉商大紀要，巻 61，号 2，p. 1-26，

【学会発表等】

- 通常の学級担任教員に求められる小児期発生の流暢性障害の生徒への配慮と支援—中学校、高等学校段階に焦点をあてて— 川崎 知己（単著），日本 LD 学会第 32 回大会（広島） 2023 年 10 月
- 小中学生を対象とした小集団ソーシャルスキルトレーニング・ヨガプログラムの実践 飯田順子 川崎 知己 太田千瑞（共著），日本 LD 学会第 32 回大会（広島） 2023 年 10 月

3. 主な経費

インタビューをオンライン上でも円滑に進められるパソコン周辺機器、インタビューの音声データを逐語で文字起こしする際に詳細まで聞き取れる機器、学会発表用に必要とされる文具類、研究に関する書籍等を購入した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【科学研究費】

- ・基盤研究（B）：令和 2 年度～令和 5 年度，分担，課題名「子どもの強みに着目したメンタルヘルススクリーニングによる学校全体支援モデルの構築」（20H01758）

【その他の活動】

三鷹市いじめ問題対策協議会副会長 （三鷹市教育委員会）

日本教育カウンセラー協会 評議員 （NPO 日本教育カウンセラー協会）

NPO 日本教育カウンセラー協会広報委員会委員 （NPO 日本教育カウンセラー協会）

日本スクールカウンセリング推進協議会 研修委員 （一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会）

（本文は 2 ページ以内 にまとめること）